

## 「にほんの里100選」選定地「藤野町佐野川地区」について

### 1 「にほんの里100選」とは

朝日新聞社創刊130周年、森林文化協会創立30周年を記念して企画されたもので、緑豊かな田んぼや里山、生き物で賑わう水辺や海辺など、日々の営みで保たれてきた多彩で美しい自然と景観、人模様を対象として「にほんの里」100ヶ所が選定された。

- |  |  |
|--|--|
| 【主催】朝日新聞社／(財)森林文化協会  | 【後援】農林水産省／国土交通省／環境省  |
| 【応募期間】2008年1月から3月末まで   | 【発表】2009年1月6日朝日新聞朝刊（全国版）で発表予定<br>※2008年2月に「ふじの里山くらぶ」が地域調査などを行い応募。<br>※全国応募総数 4,474 件 |
| 【審査委員】山田洋次（映画監督）、あん・まくどなるど（エッセイスト・宮城大学准教授）、森本幸裕（京都大学大学院教授）、鷲谷いづみ（東京大学大学院教授）、粕谷卓志（朝日新聞編集担当） |  |
| 【詳細 URL】   | <a href="http://www.sato100.com/">http://www.sato100.com/</a>                        |

### 2 応募団体「ふじの里山くらぶ」とは

【団体】ふじの里山くらぶ 会長 佐々木道他

【住所】相模原市藤野町小淵 1695-1 番地 TEL 042-686-6750

「ふじの里山くらぶ」は、自然と触れ合う機会が少なくなった都会に暮らす方々に気軽に来ていただき「つくる、遊ぶ、食べる、触れる、見る」など里山の暮らしを共に共有していただき、心のリフレッシュと新しい交流を目指し、平成16年5月に住民有志で設立された地域づくり支援組織。

設立してほぼ5年が経過したが、活動は徐々に軌道に乗ってきており、特に横浜国立大学との連携ではじまった「古民家再生プロジェクト」や、神奈川県と協働して取り組んだ「みのりの郷づくり事業」などをきっかけにさらに事業範囲を拡大し、来訪者ニーズの向上と地元の活力対策を両立させた活動を日々展開している。

今回の応募に際しては、同くらぶ実行委員会の中に地域インタビュー担当等を設置し、町内在住のプロ写真家や文学作家の協力を得て応募フォームを取りまとめた。

### 3 選定地「藤野町佐野川地区」の概要

町の北部地域にあたる「佐野川地区」は和田、鎌沢、上河原、下岩、御霊、上岩の5集落から形成されており、東は東京都八王子市、西は山梨県上野原市と接し、正に相模原市域、神奈川県域の最北西端に位置する地区。

特に今回の選定ポイントとなったのが陣馬山麓の「和田地区」と「鎌沢地区」。この地区一帯は山の斜面を切り開いた茶畑が広がっており、山の木々を伐採し、斜面を切り開き、そこに茶畑を造成するために、先人たちは谷川から岩石を運び上げ、一つ一つ積み上げていくという、気の遠くなるような労作業の果てに、土止めの石垣を築き上げた。今、斜面に広がる美しい茶畑は、こうした里人の努力によって生まれたものであり、その生業の歴史が高く評価された。この地区には竹林も多くあり「竹の子の里」や里山体験を豊富に取り備えている「和田の里」として知名度を上げており、晴れた日には、茶畑の向こうに富士山や丹沢山系も望める。

#### 【交通】

藤野駅から約4.5キロ。

#### ●電車等公共交通

JR 中央本線藤野駅前 津久井神奈交バス「和田」行

（乗車約12～14分）「鎌沢入口」又は終点「和田下車」

#### ●マイカーでお越しの方

東京方面からお越しの場合、甲州街道（国道20号）中央自動車道相模湖 IC 入口の信号をさらに山梨（上野原市）方面に行き、「藤野総合事務所前」信号を右折。およそ3キロ先 T 字路（目安；佐野川駐在所先）を和田峠方面へ。相模湖 IC 出入口信号からおおよそ15分。終点目印は「神奈川県立陣馬自然公園センター」又は「やさか茶屋」。

●タクシー…藤野交通(株) ☎042-687-3121 ●徒歩…60～90分

駐車場あり。※神奈川県立陣馬自然公園センターに3～4台、県立自然公園鎌沢駐車場には10台駐車場あり。いずれも無料。

